

ものづくり補助事業成果事例

インターネットの活用による写真館
新たなコミュニケーションツールの
等に対する提供

全国の写真館向けに新しいコミュニケーションツールを導入しました。幼稚園や小、中学校から高校、大学などの卒業アルバムの校正や確認の際に用いるシステムです。インターネットを使ってやりとりを円滑に行い、変更や修正点の確認は主にパソコンを使って行います。

事業取り組みの経緯

当社は九州を中心に全国の写真館と連携し、各地域の写真館のカメラマンが撮影したさまざまな写真データを元に地域の学校の卒業アルバムを制作しています。かつてはレイアウト、デザイン、名前などの確認のために直接、地域の写真館を訪れて、プリントアウトした校正紙や原稿を手渡しでやりとりをしており、行ったり来たりの労力や修正の時間が掛かっていました。



卒業アルバムなどを作成する平台枚葉印刷機

実施内容

平成27年度ものづくり補助事業で、遠隔校正システム「xmfrリモート」を導入しました。高いセキュリティシステムに守られたインターネットを利用し、校正や修正データを送受信するシステムです。当社と写真館の担当者は、簡単操作で的確な校正や修正が行えます。「差分表示」という特別な機能により、抜けやミスなどは減少し、修正、変更部分を明確に検証することができます。

事業取り組みの成果

同システムは、当社の顧客である写真館の約半分が活用しています。作業時間が短縮できたのは大きなメリット



補助金活用のポイント！

遠隔校正システムの導入により校正作業が迅速かつ正確に行われるようになり、お客様からの評判も上々です。



求める事業パートナー及び支援策

城野社長は「将来的には会社としてビジネスコンサルタントのような事業を構築したい」と力を込めます。印刷業は様々な企業とコミュニケーションを取る機会があり、顧客のいろいろな話を聞くことが多いと言います。そうした中で、顧客の課題解決のお手伝いができるようなビジネスを立ち上げることを希望しています。

です。校正のための写真館訪問の回数も減少し、その分、営業のための訪問を増やすことで商圏の拡大にもつながりました。また、全体的なコスト低減にも結びつきました。当社にとっても、顧客にとっても、お互いにメリットがあるシステムとして大いに役立っているといえます。制作の効率化が図られることで、働き方改革の取り組みにも貢献しています。



オフセット輪転印刷機

今できることを大切に 楽しいときも
辛いときも 続けてつないで103年
『何でも』ができる企業を目指して歩みます。

COMPANY PROFILE

株式会社 城野印刷所

代表者名 代表取締役 城野 斉
設立年月 1956 年
所在地 〒861-2296
熊本県上益城郡益城町広崎 1630-1
TEL 096-286-3366
FAX 096-286-3321
URL <http://www.jono.co.jp/>
資本金額 6600 万円
従業員数 120 人
業種 印刷業

代表取締役
城野 斉さん

遠隔校正システム導入はスピーディーな対応を可能に